

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立入間わかくさ高等特別支援学校 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	対象学年 : 職業学科全学年 人 数 : 170人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	・生涯を通じたスポーツへの参画の拡大 ・障害者スポーツを含むスポーツに対する関心の向上 ・東京大会への関わり方を見つける
5 取組内容	(1)パラリンピック種目体験「ボッチャ」 ・3人1組（20チーム）によるリーグ戦 ・コート作りや審判も生徒が行った。  (2)アジア大会派遣教員による授業 ・アジア大会（車椅子バスケットボール）の審判として派遣された教員による授業 ・現地での話やパラスポーツについての話を行った。 

	(3)専門コース「食品衛生」によるオリンピックシンボルをイメージしたパンの製作 ・職業学科「食品衛生コース」 ・2020東京大会に向けパンを生徒たちが考案し製造
6 主な成果	・パラリンピック種目競技（ボッチャ）を体験し、全員がルールを理解し競技や審判を行えるようになった ・オリンピックシンボルをイメージしたパンを製造することでオリンピックへの興味や関心が高まった。
7実践において工夫した点 （事業の特色）	・ボッチャ体験はリーグ戦だったので、各生徒が複数回体験することができた。 ・ボッチャの決勝戦は、大型スクリーンに映し、全生徒で視聴した。 ・オリンピックシンボルをイメージしたパンは、5種類の色の異なる食材を使用するなど、見栄えや味にこだわった。
8主な課題等	・パラスポーツについての理解を更に深め継続して行っていく。
9来年度以降 の実施予定	・パラスポーツ体験の継続 ・様々なスポーツに触れる機会を作り、生涯スポーツへと繋げていく。 ・2020東京オリンピック・パラリンピックへの関わり方を深めていく。